



TITLE:

モンキアゲハとシジミチョウ科の 一種(チョウ目)の塩分補給(2016年)

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. モンキアゲハとシジミチョウ科の一種(チョウ目)の塩分補給(2016年). KINOKUNI 2016, 89: 14-14

ISSUE DATE:

2016-07-26

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/216290>

RIGHT:

発行元の許可を得て登録しています.

モンキアゲハとシジミチョウ科の一種（チョウ目） の塩分補給（2016年）

Supply of salt by *Papilio helenus nicconicolens* Butler and *Lycaenidae* sp. (Lepidoptera) in 2016

久保田 信

これまで和歌山県白浜町に所在する京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所“北浜”では、モンキアゲハ（久保田，2011a），セセリチョウの一種（久保田，2011b; 2015b），アオスジアゲハ（久保田，2012a, b; 2015b），タテハチョウ科の一種（久保田，2015a）が吸水行動をした記録がある。今回，モンキアゲハとシジミチョウ科の一種の翅の全く傷んでいない1頭ずつが，当該地域でこの6月に海水を吸水したので報告する。

モンキアゲハは，2016年6月12日11時33分，“北浜”の船着き場の東側にある岩礁の潮間帯の岩の間の砂だまりに着地し，約4分ほど吸水した。一箇所ですぐ長く吸水し，飛翔する直前には反時計回りにゆっくり半回転し，数cmほど北東に移動した。その後，そこ周りの岩場を飛んでは着地する行動を，1分ほどの短い時間ではあったが，せわしなく繰り返した。その後，すぐに船着き場の西側の砂浜に移動し，そこを飛び回ったが，満潮線に打ち上がっているホンダワラ類に一時的に一回だけ着地した。その後，すぐに植生のある構内に飛び去った。

シジミチョウ科の一種は，2016年6月10日11時頃に，満潮線の砂浜で何度も吸水した。しかし，どの着地時間も短かった。

今回の観察から，2011年以降，モンキアゲハは今回で4度目となり，これらの時期すべてが5－6月に観察されたものであった。一方，シジミチョウ科の一種の吸水は，当該地域では初めての遭遇であった。

引用文献

- 久保田 信. 2011a. モンキアゲハ（チョウ目, アゲハチョウ科）の塩分補給. KINOKUNI, (79) : 15.
久保田 信. 2011b. セセリチョウの一種（チョウ目, セセリチョウ亜科）の塩分補給. KINOKUNI, (80) : 15.
久保田 信. 2012a. アオスジアゲハ（チョウ目, アゲハチョウ科）の塩分補給. KINOKUNI, (81) : 12.
久保田 信. 2012b. アオスジアゲハ（チョウ目, アゲハチョウ科）の塩分補給を再度確認. KINOKUNI, (82) : 14.
久保田 信. 2015a. タテハチョウ科の一種の塩分補給. くろしお, (34) : 54.
久保田 信. 2015b. アオスジアゲハとセセリチョウ科の一種（チョウ目）の塩分補給（2015年）. KINOKUNI, (88) : 19.

（くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）